

化学療法計画書

ID								指示医師： 指導医師： 投与開始予定日： 年 月 日 投与終了日： 年 月 日			
氏名											
生年 月日											
実施部署				発行日							
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50	Ccr (mL/min)	80.0				

病名	乳癌
治療法	キイトルーダ＋ゲムシタピン＋カルボプラチン併用療法

	1	2	3
抗癌剤・商品名	キイトルーダ	ゲムシタビン	カルボプラチン
規格	100mg/4mL	200mg 1g	50mg/5mL 150mg/15mL 450mg/45mL
一般名	ペムブロリズマブ	ゲムシタビン	カルボプラチン
一日投与量(規定)	200mg/body	1000mg/m ²	AUC*2
患者情報から算出した 一日投与量	200 mg	1501.12 mg	210 mg
実際の投与量	200 mg	1500 mg	210 mg
		999.3 mg/m2	AUC* 2
投与日	day1	day1,8	
1クール期間	21日間		
予定クール数	最大35コースまで		
検査スケジュール	原則的に投与日にICI施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施		

適応基準	前治療歴のないPD-L1陽性の治癒切除不能な転移・再発又は局所進行性トリプルネガティブ乳癌
推奨 経口剤	○このレジメンは中等度催吐性リスク群です。 ※5HT3受容体拮抗薬＋点滴デカドロン(点滴レジメン組込み)以外に以下の経口制吐剤を推奨します。 デカドロン: day2、3、4:8mg/日 アプレピタント: day1(抗癌剤投与前)125mg、day2・day3 80mg/日はオプションとして使用可。 ただし、デカドロン投与量を半減すること。
禁忌	1.本剤の成分又は他の白金を含む薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者 2.高度な骨髄抑制のある患者 3.胸部単純X線写真で明らかで、かつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症のある患者 4.胸部への放射線療法を施行している患者 5.重症感染症を合併している患者 6.妊婦又は妊娠している可能性のある女性
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm3未満、血小板数:50,000/mm3未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0 における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	●キイトルーダ 重大 1.間質性肺炎患 2.大腸炎、小腸炎、重度の下痢 3.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑 4.類天疱瘡 5.神経障害 6.劇症肝炎、肝不全、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病 11.腎障害 12.膵炎 13.筋炎、横紋筋融解症 14.重症筋無力症 15.心筋炎 16.脳炎、髄膜炎 17.重篤な血液障害 18.重度の胃炎 19.ぶどう膜炎 20.血球貪食症候群 21.結核 22.Infusion reaction その他 (10%以上)好中球減少、貧血、血小板減少、悪心、下痢、嘔吐、疲労、無力症、食欲減退、そう痒症、発疹、脱毛症 (1～10%未満)白血球減少、リンパ球減少、発熱性好中球減少症、血中TSH増加、眼乾燥、流涙増加、口内炎、便秘、口内乾燥、腹痛、消化不良、上腹部痛、胃食道逆流性疾患、発熱、粘膜の炎症、倦怠感、末梢性浮腫、悪寒、インフルエンザ様疾患、肺炎、低マグネシウム血症、低カリウム血症、低ナトリウム血症、リパーゼ増加、脱水、高血糖、アミラーゼ増加、低リン酸血症、関節痛、筋肉痛、四肢痛、背部痛、筋痙攣、味覚異常、頭痛、末梢性感覚ニューロパチー、浮動性めまい、錯感覚、不眠症、蛋白尿、血中クレアチニン増加、発声障害、咳嗽、呼吸困難、鼻出血、手掌・足底発赤知覚不全症候群、斑状丘疹状皮疹、皮膚乾燥、尋常性白斑、紅斑、ざ瘡様皮膚炎、高血圧、ほてり、体重減少 (1%未満)好酸球増加症、耳鳴、回転性めまい、血中TSH減少、霧視、フォークト・小柳・原田病、口腔内痛、胃炎、腹部膨満、嚥下障害、口腔内潰瘍形成、鼓腸、疼痛、浮腫、胸痛、尿路感染、結膜炎、上気道感染、口腔カンジダ症、低カルシウム血症、高トリグリセリド血症、高カリウム血症、高コレステロール血症、血中コレステロール増加、高尿酸血症、筋力低下、骨痛、関節炎、筋骨格痛、筋骨格硬直、感覚鈍麻、嗜眠、多発ニューロパチー、口腔咽頭痛、しゃっくり、鼻漏、肺塞栓症、労作性呼吸困難、胸水、湿疹、皮膚炎、そう痒性皮疹、爪変色、じん麻疹、皮膚色素過剰、乾癬、斑状皮疹、皮膚病変、丘疹性皮疹、皮膚色素減少、多汗症、寝汗、光線過敏性反応、丘疹、毛髪変色、低血圧、潮紅、血中LDH増加、体重増加、血中CK増加、サルコイドーシス ●ゲムシタピン 重大 1.骨髄抑制 2.間質性肺炎 3.アナフィラキシー 4.心筋梗塞 5.うっ血性心不全 6.肺水腫 7.気管支痙攣 8.成人呼吸促進症候群(ARDS) 9.腎不全 10.溶血性尿毒症症候群 11.皮膚障害 12.肝機能障害、黄疸 13.白質脳症 その他 (10%以上)総蛋白低下、電解質異常、アルブミン低下、食欲不振、悪心・嘔吐、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、AI-P上昇、発疹、疲労感、発熱、血小板増加 (1～10%未満)頻脈、血圧上昇、呼吸困難、高炭酸ガス血症 注1)、低酸素血、咳嗽、BUN上昇、蛋白尿、血尿、クレアチニン上昇、下痢、便秘、口内炎、胃部不快感、ビリルビン上昇、A/G比低下、γ-GTP上昇、ウロビリノ尿、頭痛、めまい、不眠、知覚異常、脱毛、そう痒症、注射部位反応、末梢性血管炎、体重減少、尿糖陽性、好酸球増多、関節痛、悪寒、味覚異常、鼻出血、倦怠感、浮腫、CRP上昇、体重増加、疼痛、ほてり、胸部不快感 (1%未満)血圧低下、狭心痛、動悸、心室性期外収縮、発作性上室頻拍、心電図異常、PIE(肺好酸球浸潤)症候群、喘鳴、喀痰、息切れ、乏尿、歯肉炎、嗜眠、しびれ、蕁麻疹、末梢性壊疽、眼底出血、体温低下、耳鳴り、眼脂、無力症、顔面浮腫 ●カルボプラチン 重大 1.骨髄抑制 2.ショック、アナフィラキシー 3.間質性肺炎 4.急性腎障害、ファンコニー症候群 5.肝不全、肝機能障害、黄疸 6.消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管潰瘍 7.出血性腸炎、偽膜性大腸炎 8.痙攣性イレウス 9.脳梗塞、肺梗塞 10.血栓・塞栓症 11.心筋梗塞、うっ血性心不全 12.溶血性尿毒症症候群 13.急性呼吸窮迫症候群 14.播種性血管内凝固症候群(DIC) 15.急性膵炎 16.難聴 17.白質脳症 18.腫瘍崩壊症候群 19.うっ血乳頭、球後視神経炎、皮質盲 20.溶血性貧血 その他 (10%以上)悪心・嘔吐、食欲不振、ALT上昇、脱毛、全身倦怠感、 (1%～10%未満)下痢、口内炎、腹痛、便秘、血尿、蛋白尿、発疹、末梢神経障害、頭痛、AST上昇、AI-P上昇、ビリルビン上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、血清ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム等の異常、発熱、浮腫 (1%未満)口渇、乏尿、痒痒感、耳鳴、聴力低下、視力障害、眩暈、痙攣、異常感覚、味覚異常、神経過敏、不安、不眠、心電図異常、心悸亢進、血圧上昇、血圧低下、不整脈、抗利尿ホルモン分泌異常症候群、色素沈着、爪の変色、皮膚疾患、疼痛、潮紅、ほてり、胸部不快感、吃逆、注射部位反応、低蛋白血症
備考	

キイトルーダ+ゲムシタビン+カルボプラチン併用療法 観察記録①

所要時間:3時間

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬()		入外()	
医師	指示医師:			抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由		抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	キイトルーダ (mg) 一般名(ペムブロリズマブ) ゲムシタビン (mg) 一般名(ゲムシタビン) カルボプラチン (mg) 一般名(カルボプラチン)						
☐ 投与決定 ☐ 未決定 ☐ 延期・中止				投与 開始時間	調剤	実施	
投与指示	本体	側管					
	生食250mL			3時間かけて点滴【83mL/h】			
	生食100mL+キイトルーダ			30分かけて点滴【200mL/h】 ※フィルター付き点滴ラインを使用			
	生食100mL +パロノセトロン1V +デカドロン 3 A			30分かけて点滴【 200 mL/h】			
	生食100mL +ゲムシタビン			30分かけて点滴【200mL/h】			
	5%ブドウ糖250mL +カルボプラチン			60分かけて点滴【 250 mL/h】			
本体終了後抜去							

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬()	入外()	
医師	指示医師: ゲムシタビン (mg) 一般名(ゲムシタビン) カルボプラチン (mg) 一般名(カルボプラチン)			抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加	
	□投与決定 □未決定 □延期・中止			投与 開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管				
	生食250mL		2時間半かけて点滴 【100mL/h】			
	生食100mL +パロノセトロン1V +デカドロン 3 A		30分かけて点滴 【 200 mL/h】			
	生食100mL +ゲムシタビン		30分かけて点滴 【200mL/h】			
	5%ブドウ糖250mL +カルボプラチン		60分かけて点滴 【 250 mL/h】			
	本体終了後抜去					